

## 令和 2 (2020) 年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	ミトコンドリアの生合成と機能維持を担うタンパク質交通システムの分子基盤
研究代表者	遠藤 斗志也 (京都産業大学・生命科学部・教授) ※令和 2 (2020) 年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020) 年度～令和 6 (2024) 年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>ミトコンドリアの膜透過装置や引き抜き ATP アーゼの分子基盤、ミトコンドリア増殖を助ける未知因子の解明を目指す研究である。</p> <hr/> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>クライオ電子顕微鏡技術の進展により、構造解析が著しく発展し、本研究のようなミトコンドリア膜透過装置や引き抜き ATP アーゼの分子基盤の解明も可能になった。本研究でこれらの解析を行うことにより、構造や作動機構が未知のミトコンドリア TOM 複合体、SAM 複合体、引き抜き ATP アーゼの作動原理が解明され、ミトコンドリア研究が新しい段階を迎えることを期待する。</p>